

2022年度事業計画書（案）

NPO法人 CIL ひこうせん
理事長 杉浦 英俊
電話番号 048-555-1100

1. 事業実施方針

2022年度は、安全対策を最優先の課題とし、講習や日々の点検などの具体的な対策を講じていきます。

新型コロナウイルスに対しては、昨年度に引き続き、感染予防、感染対策を行い、ひこうせんメンバー、職員、アシスタントが懸命になって感染者を出さないように努めていきます。まだまだ、状況は予断を許しませんが、いちにちでも早く多くの人々がひこうせんに楽しく集えるようになることを望んでいます。

ひこうせんの目的「誰もが自分の夢を実現できる社会」「一人でも多くの地域で自立生活を送る障害者の自立支援」の達成は、政府が提唱する「新しい日常」では避けなければならない濃厚接触抜きには成り立ちません。誰一人、感染者を出さないよう全員で、今後もこころを合わせて無事に送れるよう努めましょう。

今後の国や県のウイルス対策に従いながら、できるだけ以前の生活に戻れるように取り組んでいきたいと思えます。

各事業の実施方針は次のとおりです。

① 自立生活支援事業

自立を目指す当事者に対し、的確に対応し、地域で自立生活を送る障害者を支援していきます。自立生活について理解を深め、意欲を高められるように「ILP」（ミニILPを含む）や「ピアカウンセリング」「虐待防止研修」「HOP」などを実施する予定です（コロナウイルス対策により実施を検討の場合もある）

自立相談「キムヒロ」は今年度も引き続き、相談者及び家族の自立や一般就労等の希望を実現できるように支援を行う。また、相談者本人の希

望が実現できるように意思決定支援の方法等についても検討を関係者を行い、相談員の人材育成にも取り組む。

・「文学・歴史・美術・現代社会・人の品格等の知識や教養を高める」障害を問わず誰でもが学べるサロン「ILP with Salon ミネルヴァ」（月に1回の予定）を行います。

・新しく今年度から自立支援研究所を本部内に設置します。

② 介助派遣及び移送サービス

新型コロナウイルス感染対策を最優先としながら、確実に障害者の自立生活を支援できるよう万全の体制をとります。アシスタントのスムーズな派遣、アシスタントの技術や対応の改善・指導の実施、現場の課題の把握、問題の解決、アシスタント不足の解消に努めます。

③ 障害者・高齢者及び児童の権利擁護活動

新型コロナウイルス感染対策の3密を回避する形での虐待防止研修の実施を検討し、虐待防止に取り組みます。

④ 福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業

福祉の店「きゃんばす」の運営など市内障害者団体と協議して、福祉施策の促進を図ります。ふれあいまつり、スポーツレクリエーションなどの催しに参加し、市内福祉団体との連携・交流を深めます。まちづくりでは、行田市公益活動推進委員会に引き続き参加し、積極的に街づくりに提言を行います。行田の市街地をアート化するための活動を行います。

⑤ 障害者児福祉サービス事業

就労継続支援B型、生活介護、自立訓練とサービスの種別による取り組みの違いを利用者のニーズに合わせ、今まで以上に明確にしていきます。入浴サービスや機能訓練・生活訓練など必要なプログラムの確立、自前の厨房による昼食の提供を引き続き実施します。

メンバーの工賃アップや訓練として、アート作品やクラフト製品の制作、カフェの経営、内職の受注、リサイクル事業など引き続き実施していきます。

生活介護「アンフィニ」では、利用者の作業をパソコン作業に特化し、生活のクオリティを高めると同時に収益化を図れる様に努めます。併設されたショートステイ「ルポ」では、緊急時に宿泊して過ごせるよう、出来るだけ多くの方にご利用いただけるよう努めていきます。「こころ」

は課題であった耐震のための建て替えが補助金交付が決定されたことにより実現できることとなりました。今年度の建設を実行します。

3か所の日中活動の拠点の総力を挙げて、就労継続支援A型事業所の設立に向けて収益性を重視する事業の開発を実施します。

「amp かわいいサミット」は八木橋百貨店様の多大なるご協力をおもちゃにして、新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、今年度も販売と展示のみに限定して、開催することとなりました。

共同生活援助・絆では多様な入居者の要望にできるだけ対応しながら、安全・安心に生活が続けられるよう取り組みます。世話人会議を月1回開催し、ホームで生起する諸問題の解決を図ります。

⑥ 児童福祉法に規定する児童発達支援事業および放課後等デイサービス事業

放課後等デイサービス事業「ぴーす」は、日中活動の「自立訓練」とも連携しながら自立にむけた個別支援計画を作成し、療育を行うとともに自立を見据えたひこうせん独自の日常生活プログラムの確立をめざします。

⑦ 広報活動としてひこうせん通信を引き続き年12回発行し、ホームページやフェイスブック、ブログ、youtubeなどを使った広報活動により一層取り組みます。

多人数が集まるイベントに関しては感染症対策を踏まえてその都度企画の見直しや変更を行っていきます。

ロシア、ウクライナの戦争も勃発し、いろいろと生活が大変な事が多いですが、皆様のご協力で明るく過ごしていきましょう。

2 事業の実施に関する事項(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 特定非営利活動に関わる事項

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	予算見込み額
自立生活支援事業	自立相談室「キムヒロ」の運営	週5回	法人事務所	2名	行田市周辺市民 104名	2,000,000
介助派遣 及び移送サービス	レスパイト輪の運営 (生活サポート事業)	通年	利用者の自宅及び 外出先、法人事務所	140名	行田市周辺市民 170名	17,000,000
	居宅事業所 パーソナルアシスタント ぎょうだの運営	通年	利用者の自宅及び 外出先、法人事務所		行田市周辺市民 90名	190,000,000
介護保険事業	パーソナルアシスタント ぎょうだの運営	通年	利用者の自宅及び 外出先、法人事務所	5名	行田市周辺市民 4名	800,000
障害者・高齢者及び 児童の権利擁護活動	人権に関わる相談及び活動	週5回	法人事務所及び相 談者の自宅	2名	行田市周辺市民	0
	「行田市障がい者差別解 消条例」の制定に向けての 活動	随時	法人事務所及び関 係機関	7名	全行田市民	0
福祉、教育、まちづく りへの啓発・提言事 業	新たな公共システムや街づく りの提言活動	随時	法人事務所	5名	全行田市民	0
障害者児 福祉サービス事業	就労継続支援B型 創案・それいゆの運営	週5回 4月1日～ 3月31日 ルポ 通年	こころ	7名	行田市周辺障がい者 22名	34,000,000
	生活介護 径の運営		グランディール	20名	行田市周辺障がい者 30名	53,000,000
	自立訓練 ビギンの運営			10名	行田市周辺障がい者 10名	12,000,000
	生活介護・短期入所 アンフィニ・ルポの運営	通年	アンフィニ	3名	行田市周辺障がい者 25名	43,000,000
	共同生活援助 絆の運営		6つの夢	37名	行田市周辺障がい者 7名	25,000,000
			なかまの家		行田市周辺障がい者 6名	20,000,000
ほうき星	7名	行田市周辺障がい者 7名	16,000,000			
児童福祉法に規定する 児童発達支援事業 及び放課後等 デイサービス事業	放課後等デイサービス 学童クラブ「きらきら」の運営	休業	グランディール	0名	行田市周辺障がい児 0名	0
	放課後等デイサービス 「びーす」の運営	週5回 4月1日～3月31日	びーす	9名	行田市周辺障がい児 10名	16,000,000
その他	ひこうせん通信の発行	毎月1回	法人事務所	3名	埼玉県内外一般市民 及び団体年6000部	217,000
	ホームページの管理	通年			埼玉県内外	0
	防災対策の強化	随時	法人事務所	7名	ひこうせん利用障がい 者	0

※ 生活ホーム事業、就労及び生活・社会参加支援事業は、障害者児福祉サービス事業に統合して実施しています。